

**香取市**  
**後期基本計画策定のための**  
**基礎調査報告書**  
**(人口推計編)**

# 目 次

■香取市人口推計結果 .....	1
1 推計方法 .....	1
(1) 0～4歳人口の推計 .....	1
① 推計方法 .....	1
② 出生率の仮定 .....	1
③ 出生男女比の仮定 .....	2
(2) 5～10歳以上人口の推計 .....	3
① 推計方法 .....	3
② 生残率の仮定 .....	3
③ 移動率の仮定 .....	3
2 推計結果 .....	4
(1) 香取市全体 .....	4
(2) 地区別 .....	7
① 佐原地区 .....	9
② 小見川地区 .....	11
③ 山田地区 .....	13
④ 栗源地区 .....	15

## ■香取市人口推計結果

### 1 推計方法

- ・ コーホート要因法により推計しています。
  - ※コーホートとは同年又は同期間に出生した集団のこと（本推計では年齢5歳階級別）。コーホート要因法とは，その集団ごとの時間変化（出生，死亡，社会移動）をもとに人口の変化をとらえる方法のこと。
- ・ 基準人口は，平成 17 年及び平成 22 年国勢調査における男女別 5 歳階級別人口としています。
- ・ 地区ごとに人口動態の特徴が異なるため、香取市を 4 地区（佐原地区、小見川地区、山田地区、栗源地区）に分けて推計しています。

#### (1) 0～4 歳人口の推計

##### ① 推計方法

- ・ 0～4 歳人口は，出産年齢人口（15～49 歳の女性人口）に 5 歳階級別の出生率を乗じ、さらに生残率、移動率を乗じて求めました。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{出産年齢人口} \\ \text{(15～49 歳の女性)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{5 歳階級別の} \\ \text{出生率} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{出生→0～4 歳人口の} \\ \text{生残率・移動率} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{0～4 歳人口} \\ \hline \end{array}$$

##### ② 出生率の仮定

- ・ 香取市の合計特殊出生率は、若干の違いはあるものの、千葉県合計特殊出生率とほぼ同値であるため、千葉県の出生率の仮定表を使用します。

#### 【合計特殊出生率(18 年からの経年値)】

	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年
全国	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39
千葉県	1.23	1.25	1.29	1.31	1.34
香取市	1.21	1.09	1.31	1.27	1.30

出典：千葉県ホームページ

- ・ 千葉県の出生率の仮定値表（※）を見ると、「平成 17～22 年」の合計特殊出生率が約「1.19」で設定されており、直近 5 年間の平均値を大きく下回っています。そこで、平成 17 年～22 年の合計特殊出生率を「1.27」、22 年以降の合計特殊出生率を「1.34」と仮定し、補正した仮定値表を以下のように作成しました。
- ・ 出生率については、各地区（佐原地区、小見川地区、山田地区、栗源地区）同

じ値を用いています。

※千葉県の出産率の仮定値表とは、国立社会保障・人口問題研究所が公表している『日本の都道府県別将来推計人口』（平成19年5月推計）時点のもの。

【千葉県の出生率の仮定値表(国立社会保障・人口問題研究所)】

年齢	平成17～22年 (2005～2010)	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)
15～19	0.00515	0.00511	0.00516	0.00525	0.00526	0.00522
20～24	0.03082	0.02966	0.02924	0.02941	0.02972	0.02984
25～29	0.07589	0.07325	0.07230	0.07184	0.07219	0.07276
30～34	0.08398	0.08165	0.08090	0.08120	0.08139	0.08166
35～39	0.03640	0.03653	0.03897	0.04054	0.04109	0.04144
40～44	0.00568	0.00637	0.00663	0.00687	0.00701	0.00707
45～49	0.00016	0.00019	0.00022	0.00023	0.00025	0.00026

合計特殊出生率が約1.19であり、実態より低く設定されている

【千葉県の出生率の仮定値表(補正後)】

年齢	平成17～22年 (2005～2010)	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)
15～19	0.00549	0.00588	0.00592	0.00598	0.00595	0.00587
20～24	0.03288	0.03415	0.03357	0.03349	0.03362	0.03357
25～29	0.08096	0.08434	0.08301	0.08181	0.08166	0.08185
30～34	0.08960	0.09401	0.09288	0.09247	0.09207	0.09186
35～39	0.03883	0.04206	0.04474	0.04617	0.04648	0.04661
40～44	0.00606	0.00733	0.00761	0.00782	0.00793	0.00795
45～49	0.00017	0.00022	0.00025	0.00026	0.00028	0.00029

「平成17～22年」の合計特殊出生率を香取市(千葉県)の実態の値「1.27」に補正  
 「平成22～27年」以降は合計特殊出生率を「1.34」に補正

③ 出生男女比の仮定

- ・出生男女比は、女子100に対して男子105.4としました(国立社会保障・人口問題研究所が人口推計に用いている値)。
- ・出生男女比は各地区(佐原地区、小見川地区、山田地区、栗源地区)同じ値を用いています。

## (2) 5～10 歳以上人口の推計

### ① 推計方法

- ・5～10 歳以上のコーホート人口は，5 歳階級ごとに生残率と移動率を乗じて求めました。

$$\boxed{\text{t 年における 5 歳階級別人口}} \times \left( \boxed{\text{5 歳階級別生残率}} + \boxed{\text{5 歳階級別移動率}} \right) = \boxed{\text{t +5 年の 5 歳階級別人口}}$$

### ② 生残率の仮定

- ・5 歳階級別の生残率は，国立社会保障・人口問題研究所の『日本の都道府県別将来推計人口』の千葉県推計値（平成 19 年 5 月推計）を用いました。

### ③ 移動率の仮定

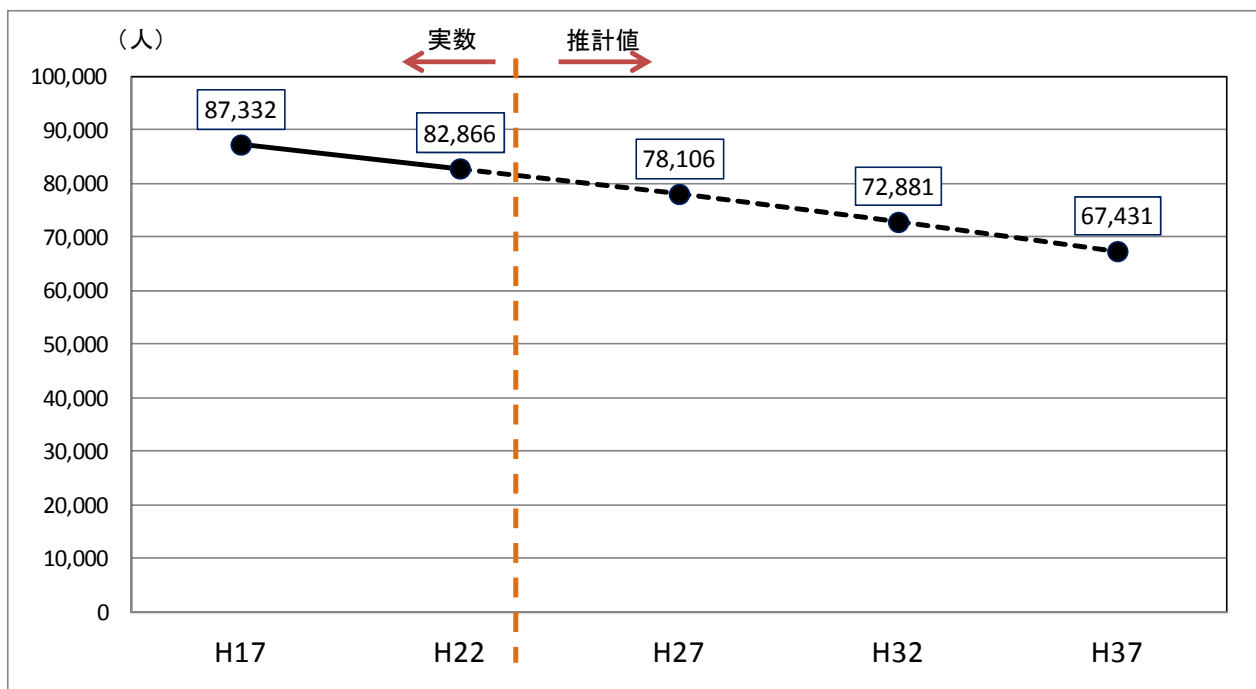
- ・5 歳階級別の移動率は，平成 17 年と平成 22 年の国勢調査結果を基に，平成 17 年と平成 22 年の間の移動率を推定し，その傾向が今後も続くものと仮定しました。
- ・各地区における平成 17 年度と平成 22 年度の人口動態をもとに移動率を算出し，それぞれ異なる移動率を用い，推計しています。

## 2 推計結果

### (1) 香取市全体

香取市の人口推計の結果は以下のとおりです。平成 27 年には 78,106 人（平成 22 年度比、 $-5.7\%$ ）と 8 万人を割り、その後も減少を続け、平成 37 年には 67,431 人（同、 $-18.6\%$ ）と 7 万人を下回ることが予想されます。

【人口推計結果(香取市全体)】



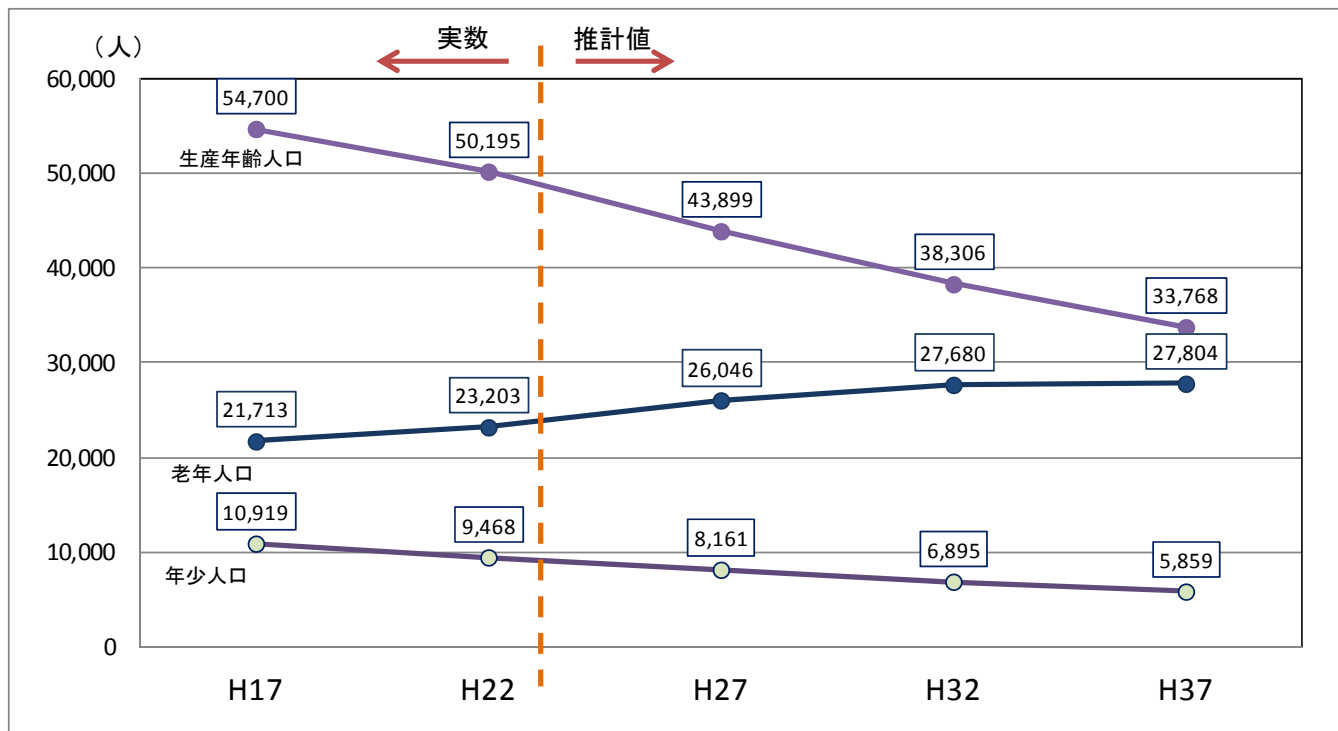
また、年齢構成の区分で見ると、年少人口と生産年齢人口は平成 17 年から平成 37 年まで、一貫して減少を続け、老年人口は増加を続けることが見込まれます。これを平成 22 年から平成 37 年の人口数の変化率で見ると、年少人口は  $38.1\%$  減少（約 3,600 人の減少）、生産年齢人口は  $32.7\%$  減少（約 16,400 人の減少）する一方で、老年人口は  $19.8\%$  増加（約 4,600 人の増加）することが予想されます。

さらに、平成 22 年から平成 32 年の人口構成比で見ると、年少人口で  $11.4\%$  から  $8.7\%$ 、生産年齢人口で  $60.6\%$  から  $50.1\%$  に減少しているのに対し、老年人口は  $28.0\%$  から  $41.2\%$  に大幅に増加しており、全国的な傾向と同様、急速に少子・高齢化が進んでいます。

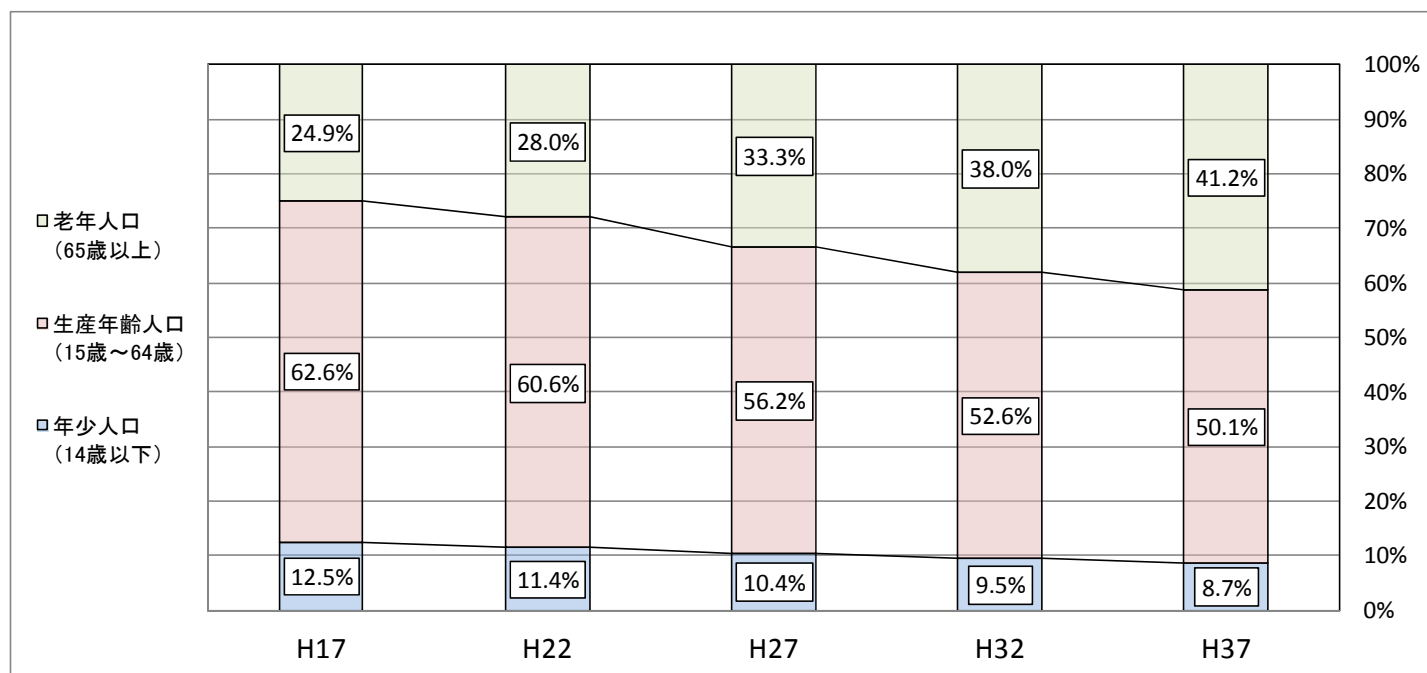
なお、平成 24 年度には、老年人口が  $30\%$  を超える見込みとなっています。

### 【年齢構成 3 区分の人口推移】

	H17	H22	H27	H32	H37	変化率 (H22→H37)
年少人口 (14 歳以下)	10,919	9,468	8,161	6,895	5,859	-38.1%
生産年齢人口 (15 歳～64 歳)	54,700	50,195	43,899	38,306	33,768	-32.7%
老年人口 (65 歳以上)	21,713	23,203	26,046	27,680	27,804	19.8%
合計	87,332	82,866	78,106	72,881	67,431	-18.6%

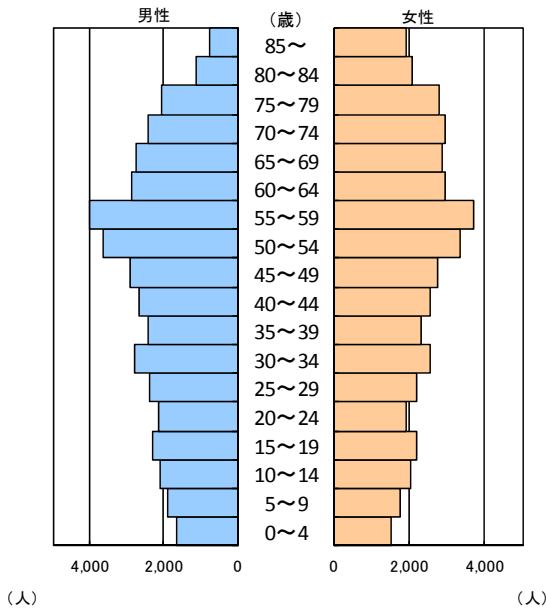


### 【年齢構成 3 区分の構成比の推移】

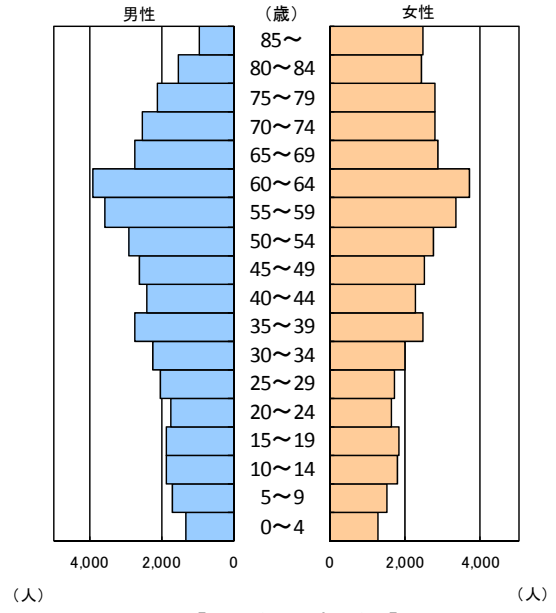


# 【人口ピラミッド】

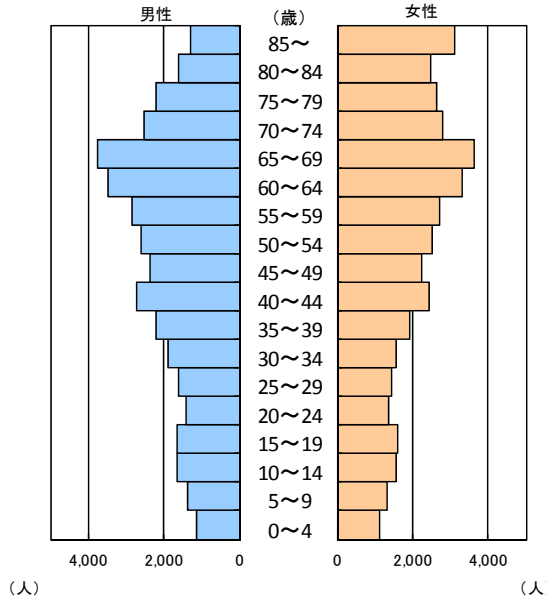
【2005年(平成17年)】



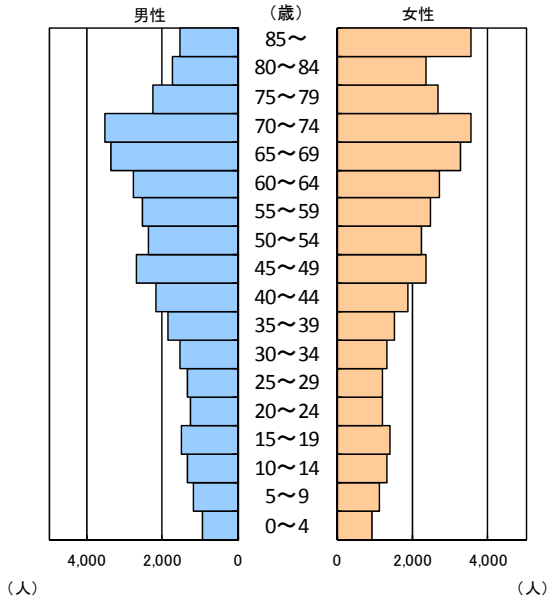
【2010年(平成22年)】



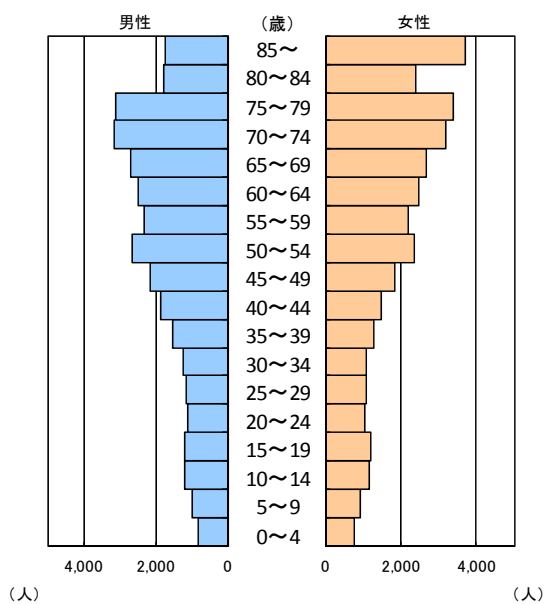
【2015年(平成27年)】



【2020年(平成32年)】



【2025年(平成37年)】



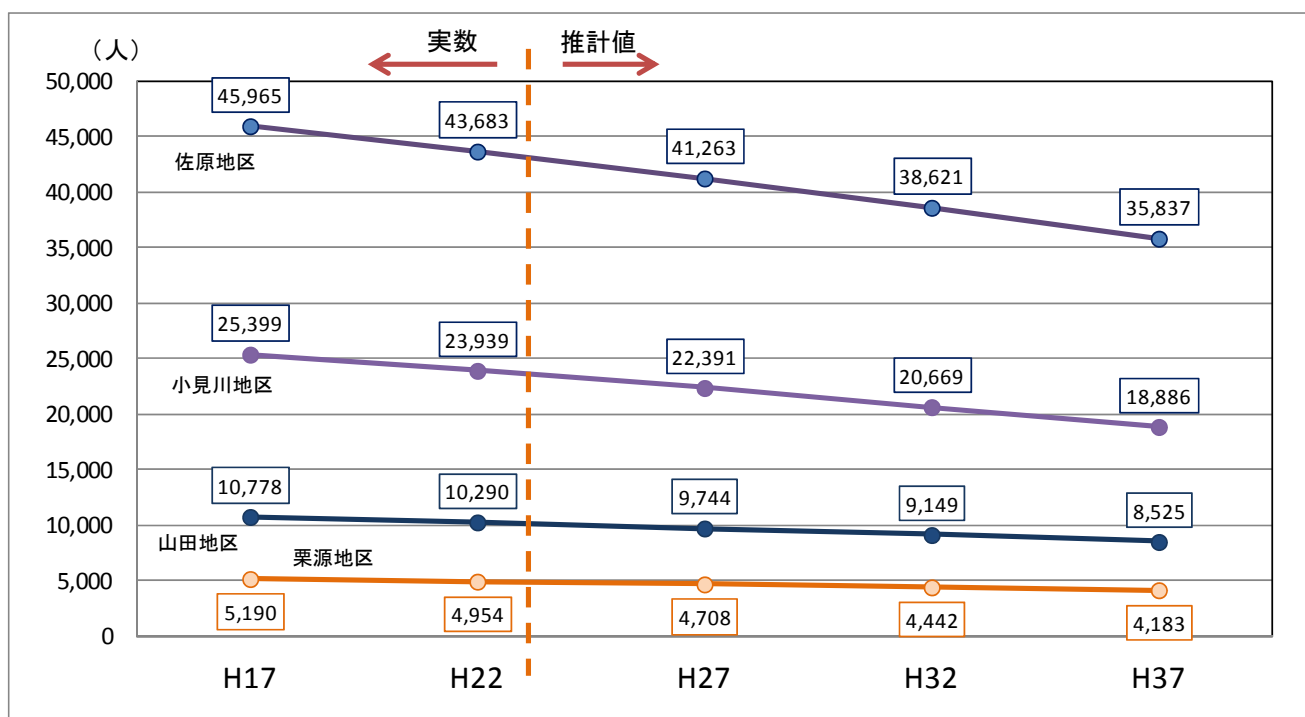


## (2) 地区別

地区別人口の推計結果を見ると、いずれの地区も平成 37 年に向け減少することが分かります。特に減少率が高いのは小見川地区で-21.1%（約 5,000 人の減少）となっていますが、もっとも減少率が低い栗源地区でも-15.6%（約 770 人の減少）となっており、香取市では全域的に急激な人口減少傾向が続くことが予想されます。

【地区別の人口推移】

	H17	H22	H27	H32	H37	変化率 (H22→H37)
佐原地区	45,965	43,683	41,263	38,621	35,837	-18.0%
小見川地区	25,399	23,939	22,391	20,669	18,886	-21.1%
山田地区	10,778	10,290	9,744	9,149	8,525	-17.2%
栗源地区	5,190	4,954	4,708	4,442	4,183	-15.6%
合計	87,332	82,866	78,106	72,881	67,431	-18.6%



地区別の移動率を見ると、すべての地区に共通して、若年層の流出率が非常に高いことが分かります。特に「15～19 歳→20～24 歳」への移動率は概ね 10%以上の流出を示しており、佐原地区、小見川地区、山田地区では、男女ともに 20%以上の人口流出となっています。これは、高校を卒業後、進学及び就職を機に香取市から転出するケースが多いことが考えられます。また、「20～24 歳→25～29 歳」「30～34 歳→35～39 歳」の階層でも人口流出が比較的高い割合で見られることも、生産年齢人口の減少ペースが速くなる一つの要因となっています。

## 【地区別の移動率】

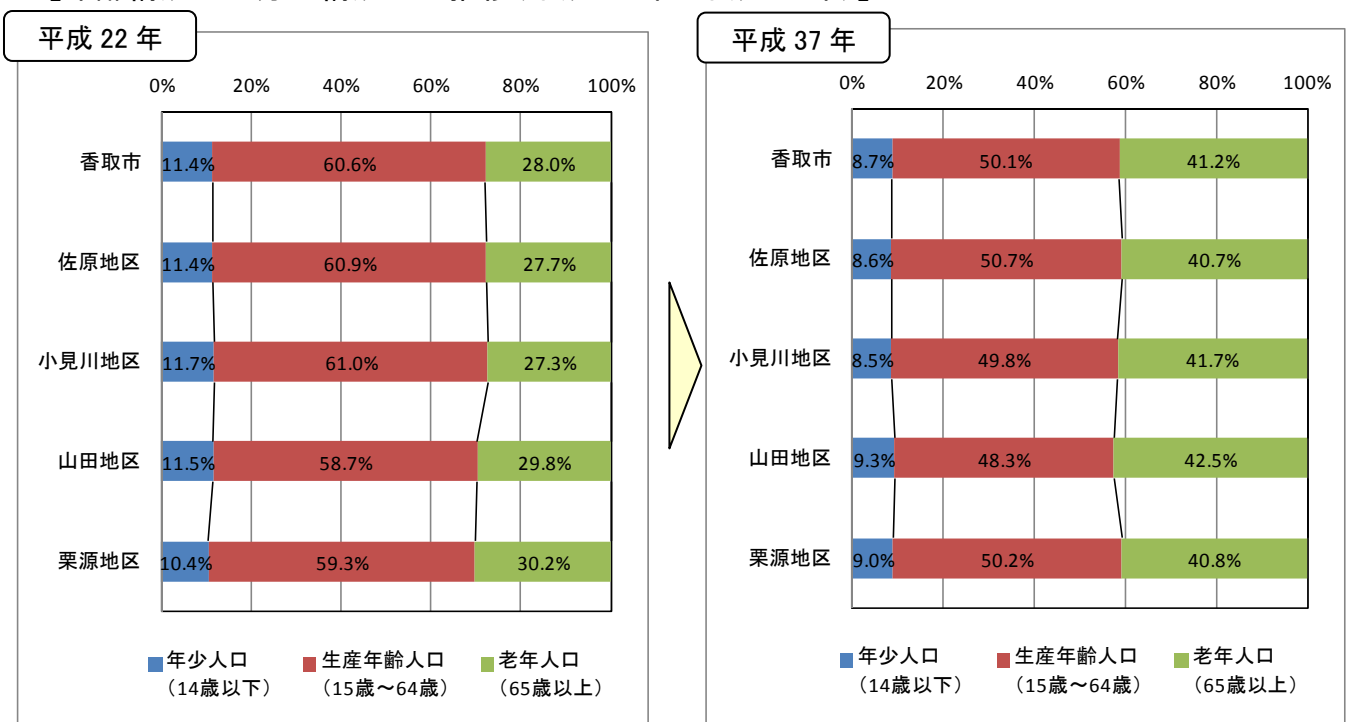
	佐原地区		小見川地区		山田地区		栗源地区	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
出生 →0歳～4歳	-5.1%	-3.5%	-8.8%	-2.0%	1.6%	5.1%	-3.4%	1.8%
0歳～4歳 →5歳～9歳	-1.0%	0.0%	7.0%	0.3%	5.8%	7.6%	15.8%	8.3%
5歳～9歳 →10歳～14歳	-2.0%	1.1%	0.4%	1.2%	-0.4%	1.3%	3.8%	1.9%
10歳～14歳→15歳～19歳	-12.1%	-9.7%	-11.2%	-8.8%	-10.2%	-13.5%	-7.3%	-9.3%
15歳～19歳→20歳～24歳	-23.5%	-24.3%	-27.3%	-26.4%	-27.5%	-28.7%	-9.3%	-10.4%
20歳～24歳→25歳～29歳	-6.1%	-9.7%	-7.1%	-17.0%	-4.4%	0.6%	-8.9%	-14.9%
25歳～29歳→30歳～34歳	-3.2%	-7.2%	-7.9%	-11.2%	-10.6%	-7.9%	4.9%	-17.1%
30歳～34歳→35歳～39歳	-2.8%	-3.4%	0.0%	-6.2%	-1.4%	3.7%	2.4%	0.2%
35歳～39歳→40歳～44歳	1.0%	-1.3%	-2.7%	-5.5%	1.0%	1.6%	-0.2%	3.8%
40歳～44歳→45歳～49歳	-1.0%	-1.2%	-1.7%	-4.3%	1.6%	2.2%	-0.2%	1.7%
45歳～49歳→50歳～54歳	1.3%	0.9%	-1.0%	0.1%	0.7%	0.2%	-2.7%	-4.1%
50歳～54歳→55歳～59歳	-0.4%	0.9%	1.3%	-0.3%	0.3%	1.0%	1.6%	1.8%
55歳～59歳→60歳～64歳	0.5%	1.3%	2.6%	-0.6%	0.9%	2.4%	-2.1%	5.9%
60歳～64歳→65歳～69歳	2.6%	0.2%	1.1%	-1.1%	2.9%	0.9%	3.9%	1.5%
65歳～69歳→70歳～74歳	3.6%	0.8%	-2.4%	0.6%	5.8%	2.5%	6.1%	0.1%
70歳～74歳→75歳～79歳	3.3%	2.4%	-0.2%	0.5%	4.9%	1.1%	5.5%	2.9%
75歳～79歳→80歳～84歳	-0.1%	-0.2%	-0.8%	0.4%	1.3%	4.8%	3.4%	1.5%
80歳～84歳→85歳～89歳	-3.7%	-1.8%	-1.9%	-4.8%	4.6%	6.1%	3.0%	5.9%
85歳～89歳→90歳～	-3.1%	1.1%	-8.8%	-1.7%	-12.3%	-0.2%	-4.9%	2.4%

※網掛けは人口流出している（流出人口が流入人口を上回っている）階層を表します

※上記のうち、濃い網掛け部分は人口流出が 10%以上の階層（移動率が-10%以下）を表しています。

地区別に年齢構成 3 区分の構成比の推移を見ると、すべての地区において、年少人口、生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高くなっています。また、老年人口の割合を見ると、平成 37 年には、すべての地区において、40%を超えると思われています。

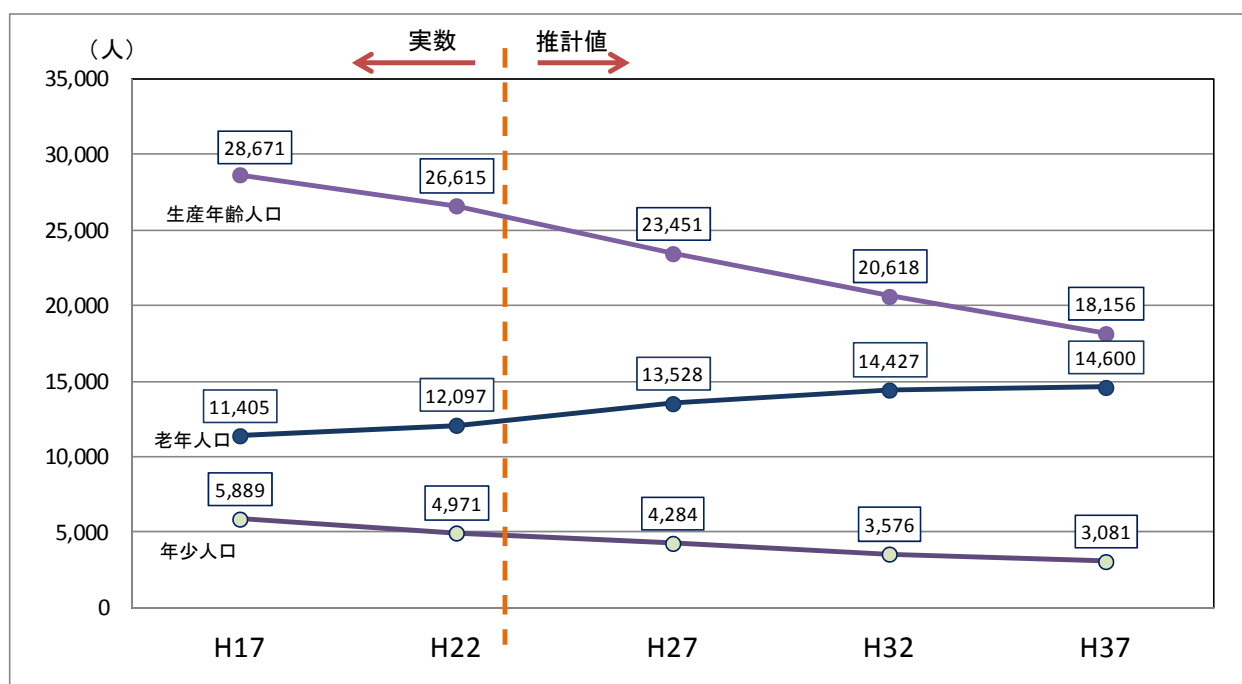
## 【年齢構成 3 区分の構成比の推移(平成 22 年と平成 37 年)】



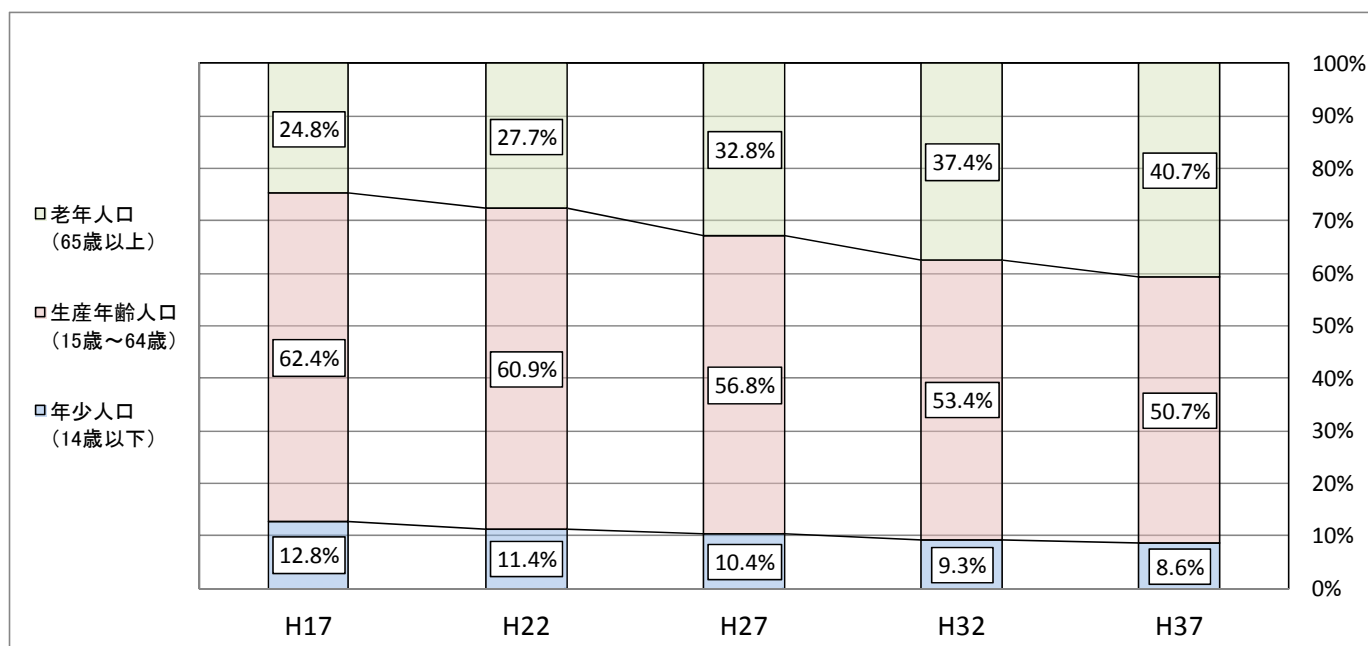
① 佐原地区

【佐原地区 年齢構成3区分の人口推移】

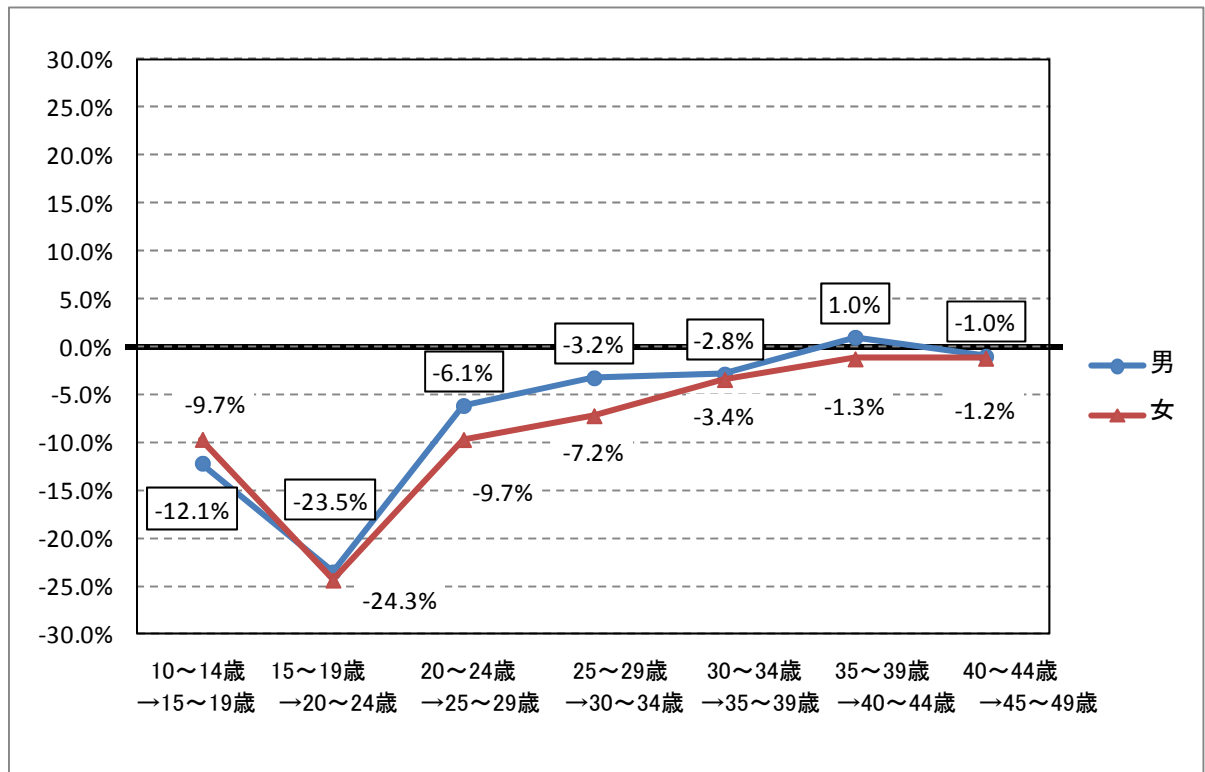
	H17	H22	H27	H32	H37	変化率 (H22→H37)
年少人口 (14歳以下)	5,889	4,971	4,284	3,576	3,081	-38.0%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	28,671	26,615	23,451	20,618	18,156	-31.8%
老年人口 (65歳以上)	11,405	12,097	13,528	14,427	14,600	20.7%
合計	45,965	43,683	41,263	38,621	35,837	-18.0%



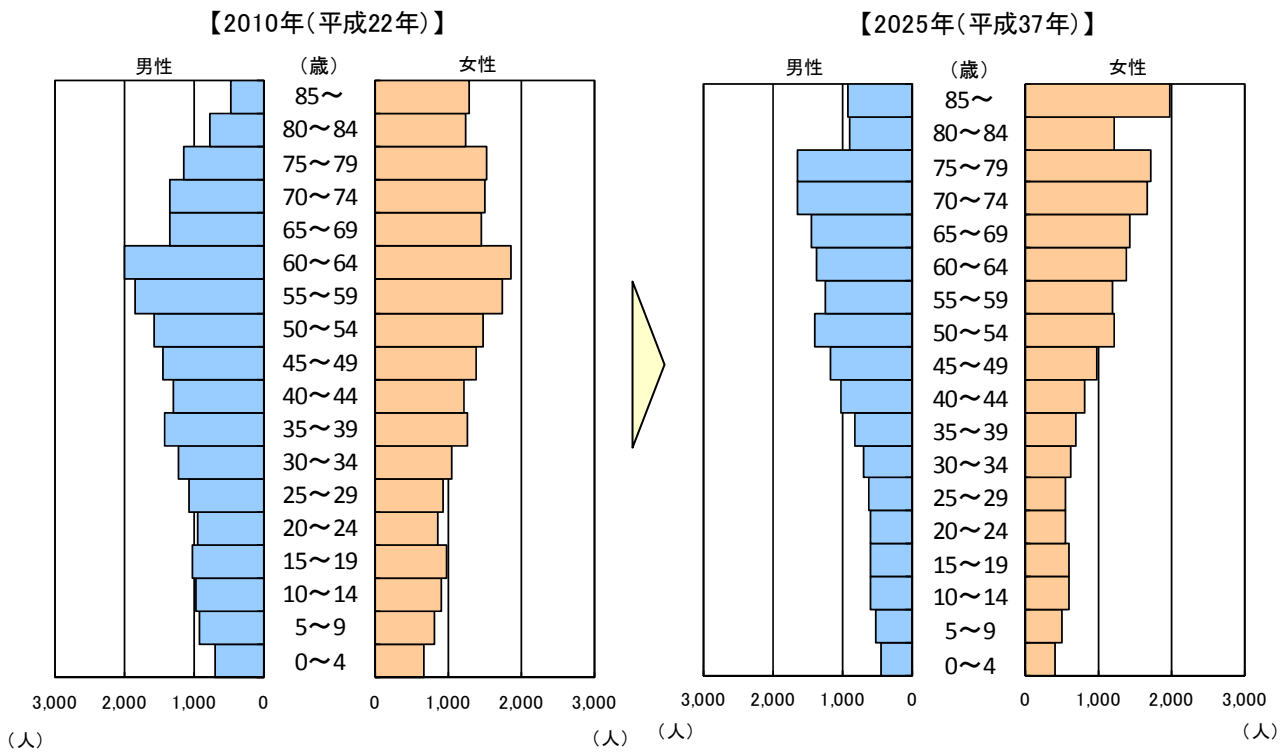
【佐原地区 年齢構成3区分の構成比の推移】



【佐原地区 生産年齢人口(49歳まで)の移動率】



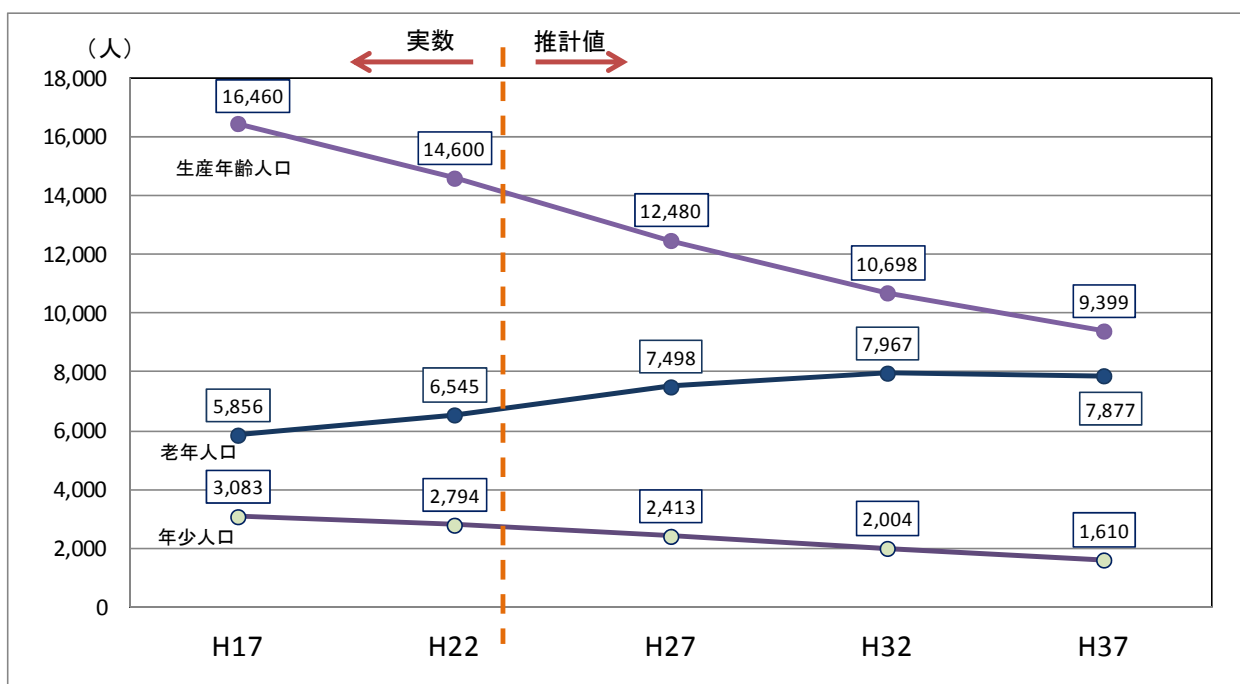
【佐原地区 人口ピラミッド】



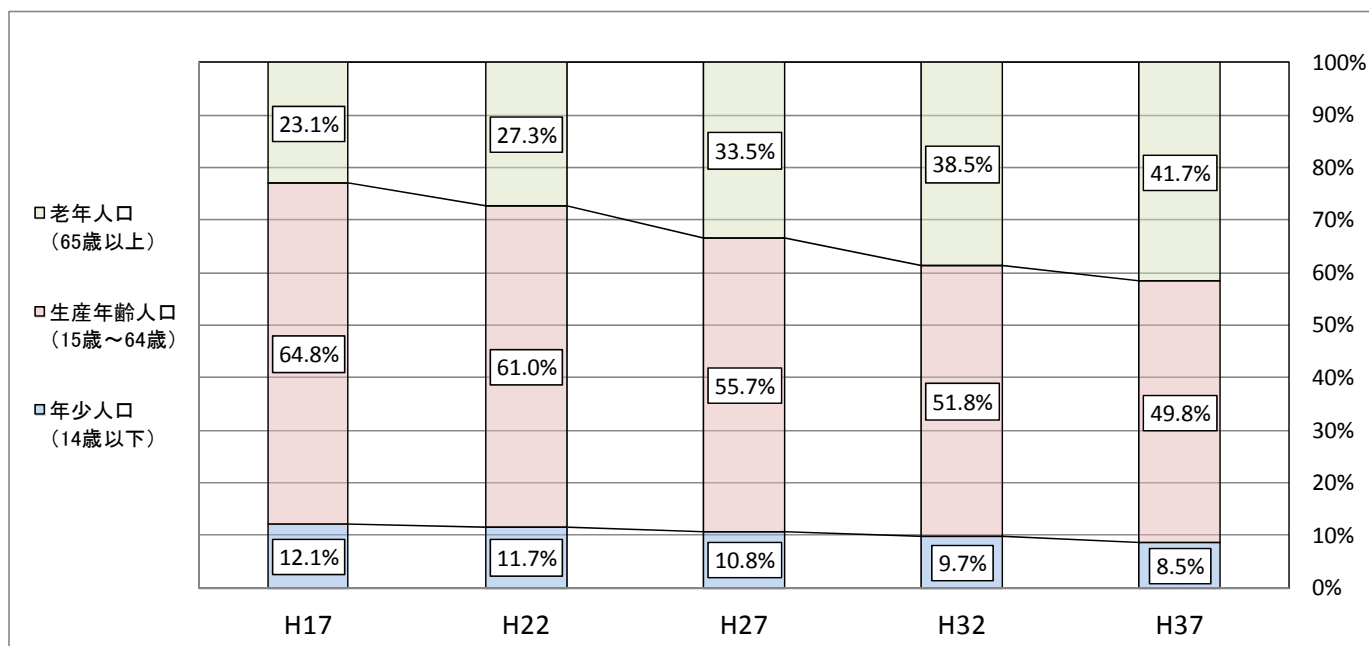
## ② 小見川地区

【小見川地区 年齢構成3区分の人口推移】

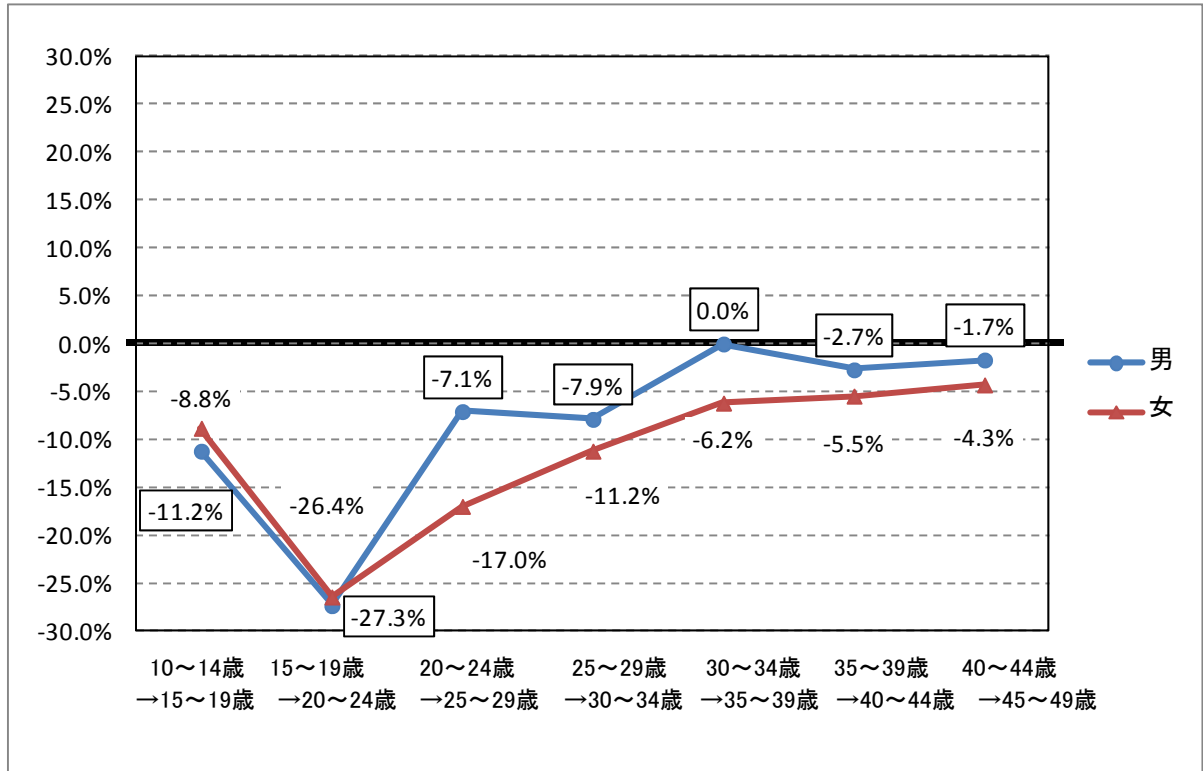
	H17	H22	H27	H32	H37	変化率 (H22→H37)
年少人口 (14歳以下)	3,083	2,794	2,413	2,004	1,610	-42.4%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	16,460	14,600	12,480	10,698	9,399	-35.6%
老年人口 (65歳以上)	5,856	6,545	7,498	7,967	7,877	20.4%
合計	25,399	23,939	22,391	20,669	18,886	-21.1%



【小見川地区 年齢構成3区分の構成比の推移】



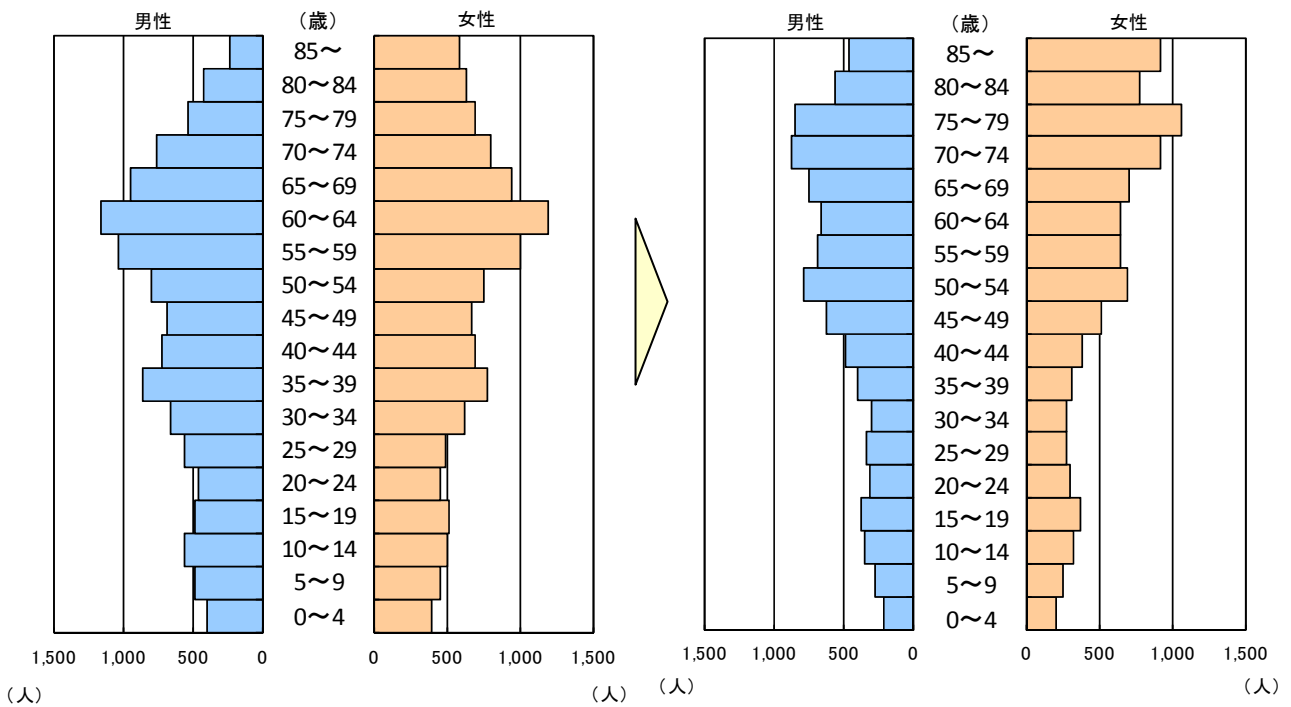
【小見川地区 生産年齢人口(49歳まで)の移動率】



【小見川地区 人口ピラミッド】

【2010年(平成22年)】

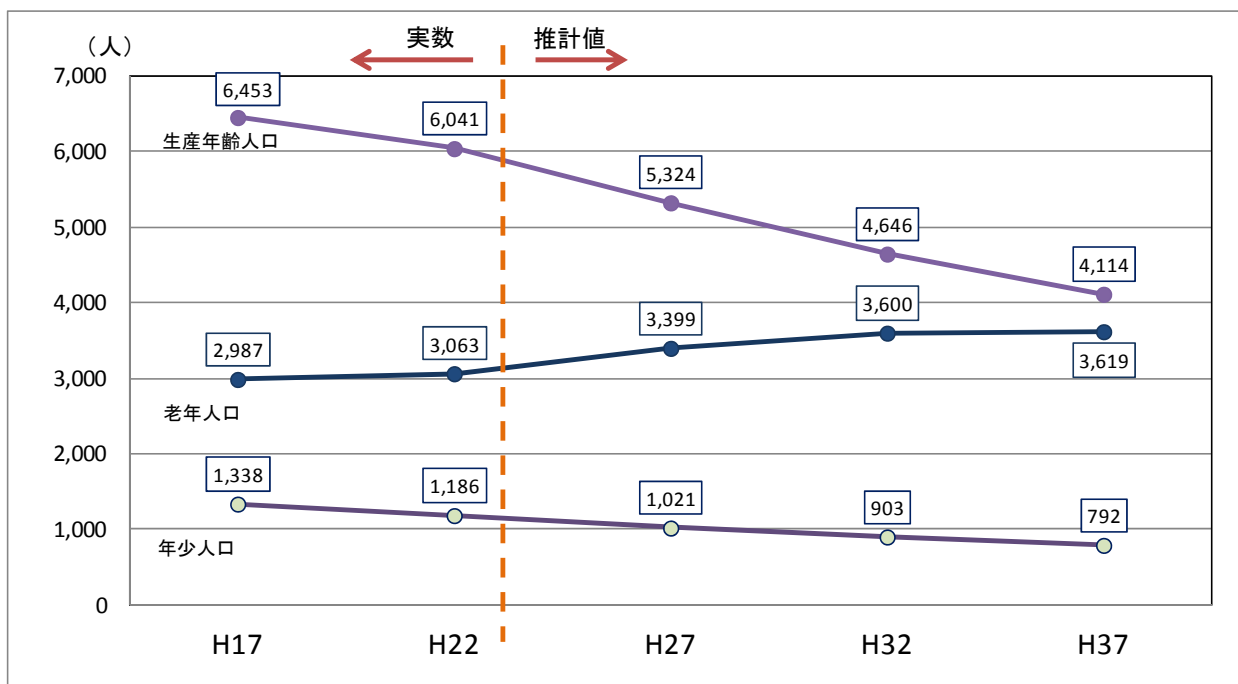
【2025年(平成37年)】



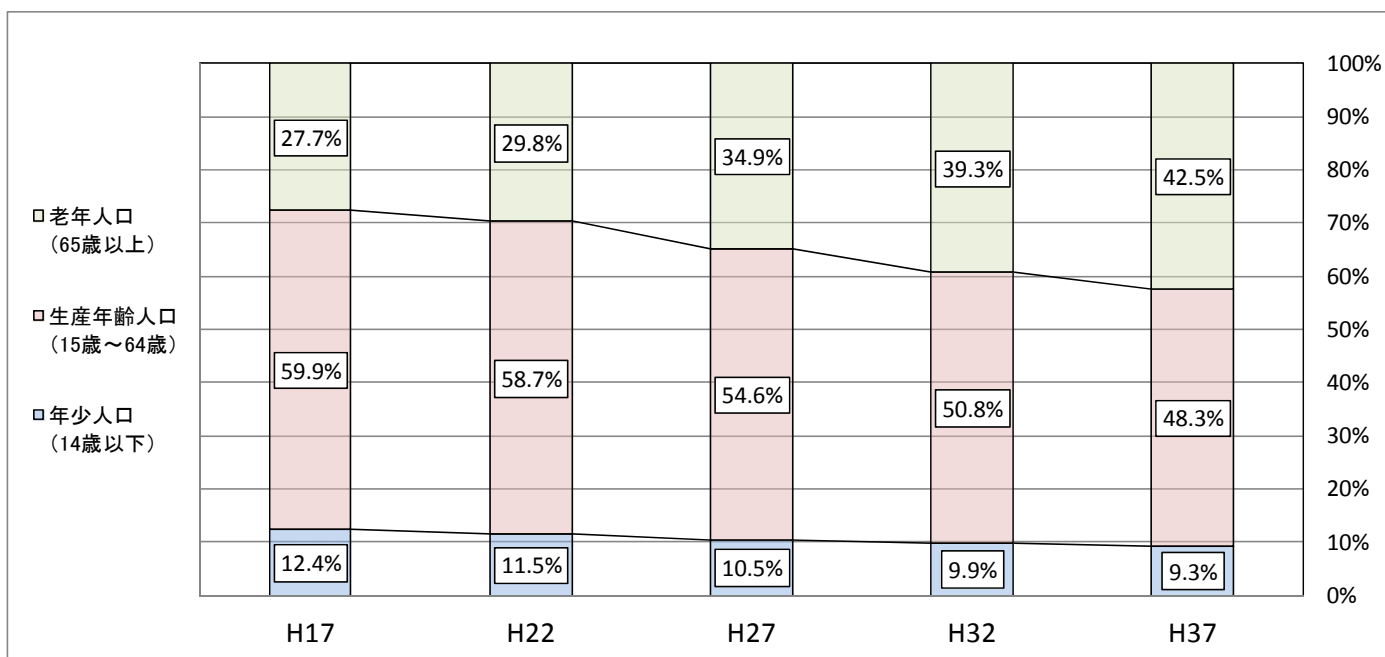
### ③ 山田地区

【山田地区 年齢構成3区分の人口推移】

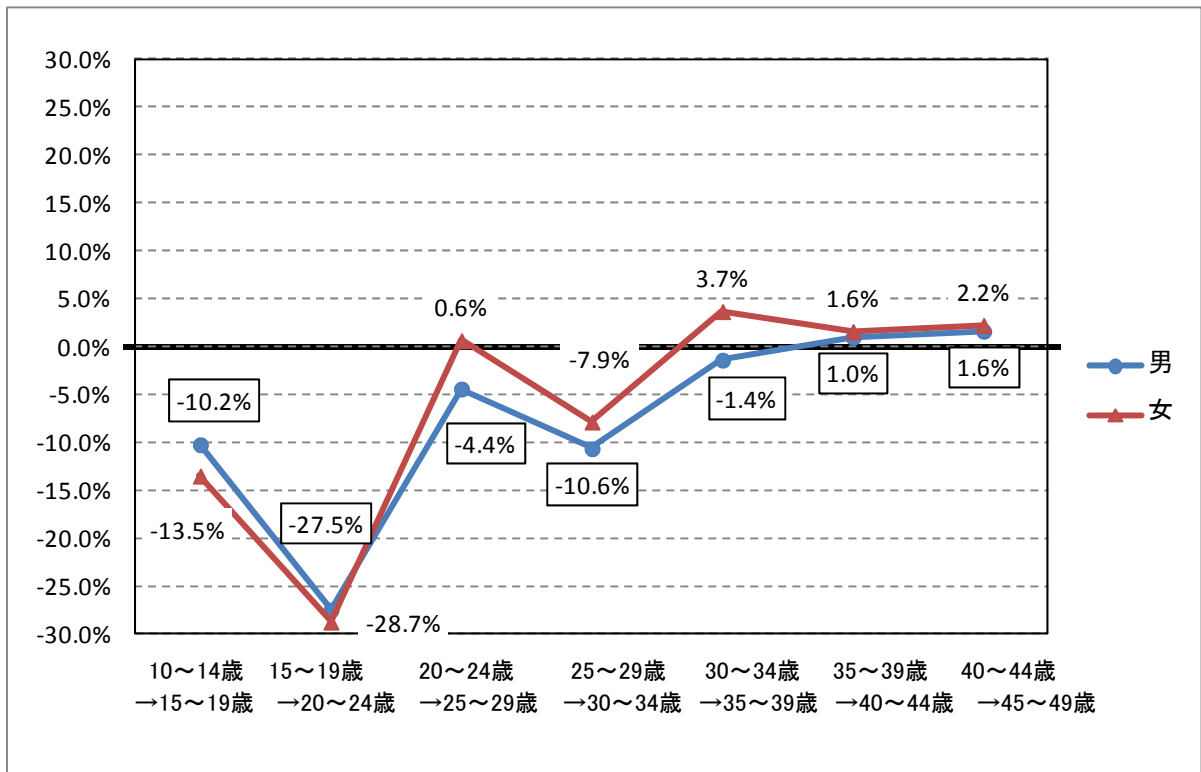
	H17	H22	H27	H32	H37	変化率 (H22→H37)
年少人口 (14歳以下)	1,338	1,186	1,021	903	792	-33.2%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	6,453	6,041	5,324	4,646	4,114	-31.9%
老年人口 (65歳以上)	2,987	3,063	3,399	3,600	3,619	18.2%
合計	10,778	10,290	9,744	9,149	8,525	-17.2%



【山田地区 年齢構成3区分の構成比の推移】



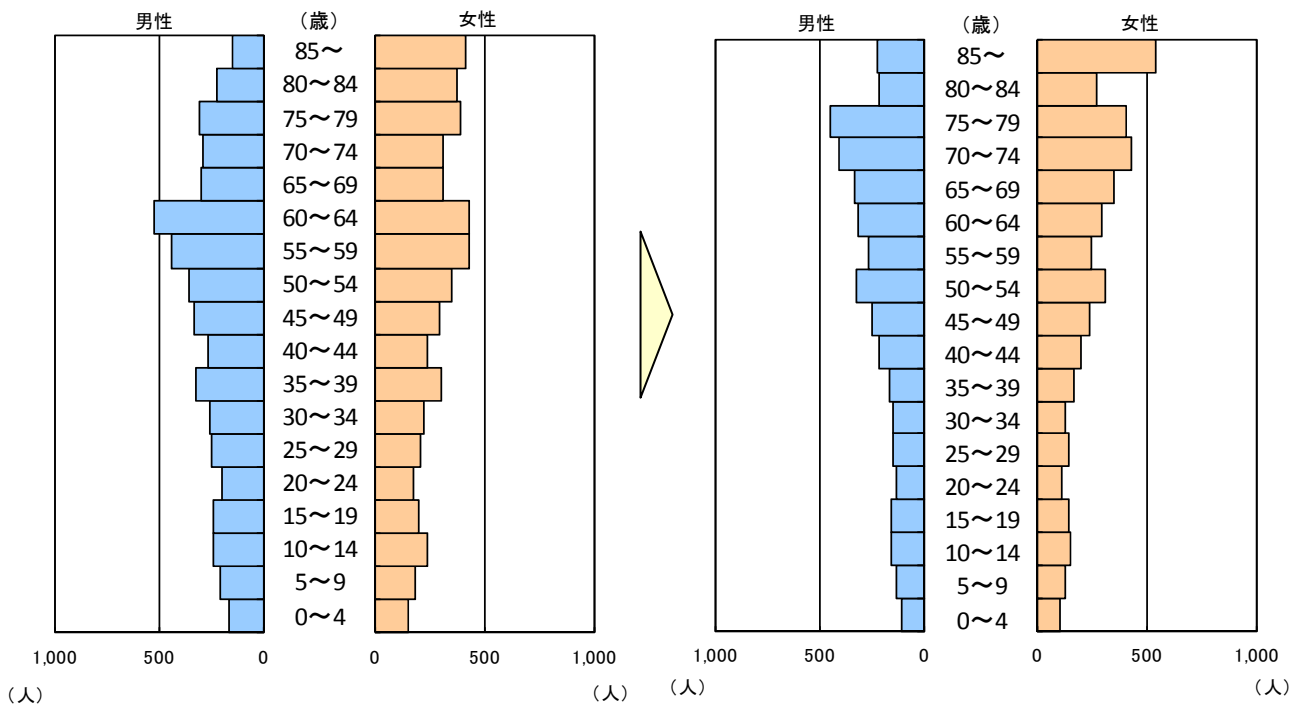
【山田地区 生産年齢人口(49歳まで)の移動率】



【山田地区 人口ピラミッド】

【2010年(平成22年)】

【2025年(平成37年)】

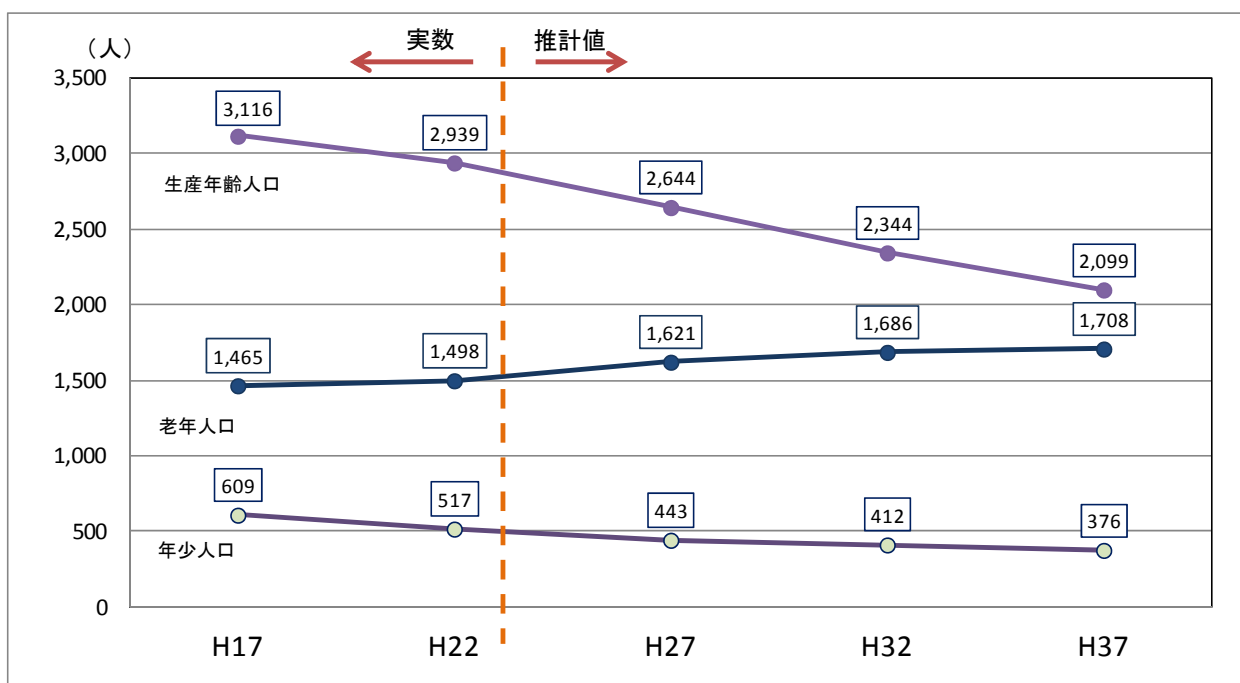




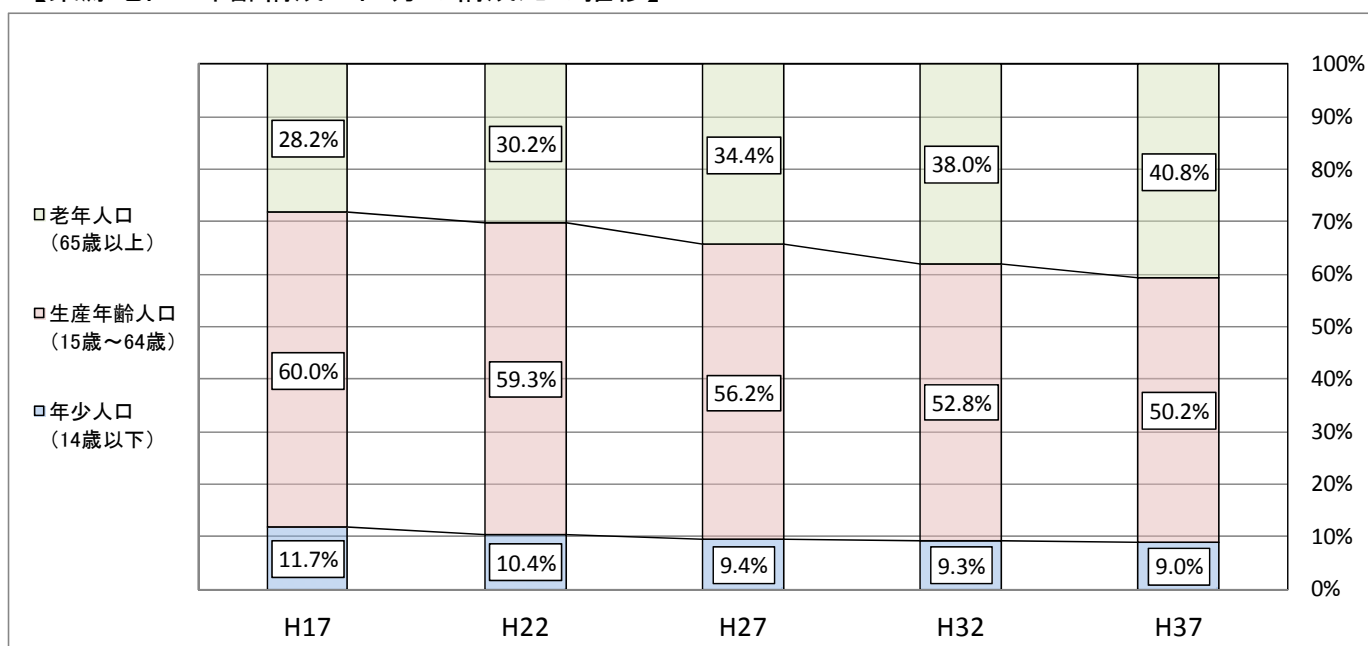
#### ④ 栗源地区

【栗源地区 年齢構成3区分の人口推移】

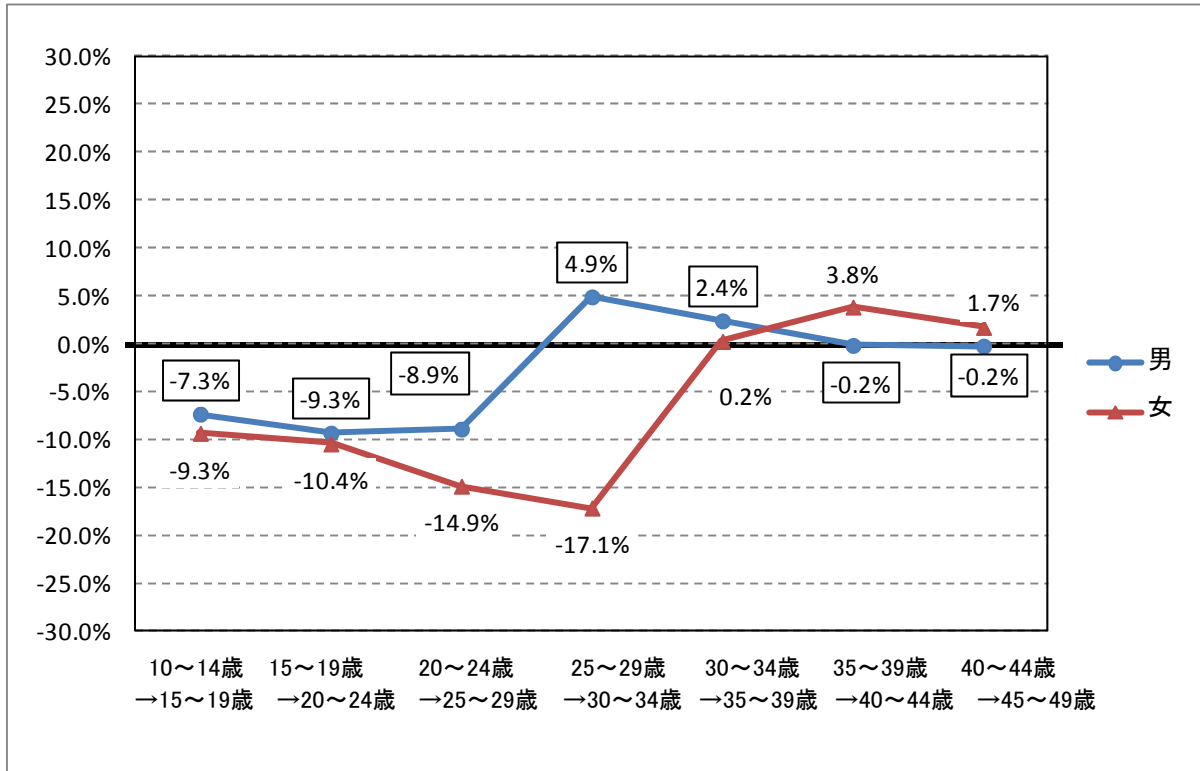
	H17	H22	H27	H32	H37	変化率 (H22→H37)
年少人口 (14歳以下)	609	517	443	412	376	-27.3%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	3,116	2,939	2,644	2,344	2,099	-28.6%
老年人口 (65歳以上)	1,465	1,498	1,621	1,686	1,708	14.0%
合計	5,190	4,954	4,708	4,442	4,183	-15.6%



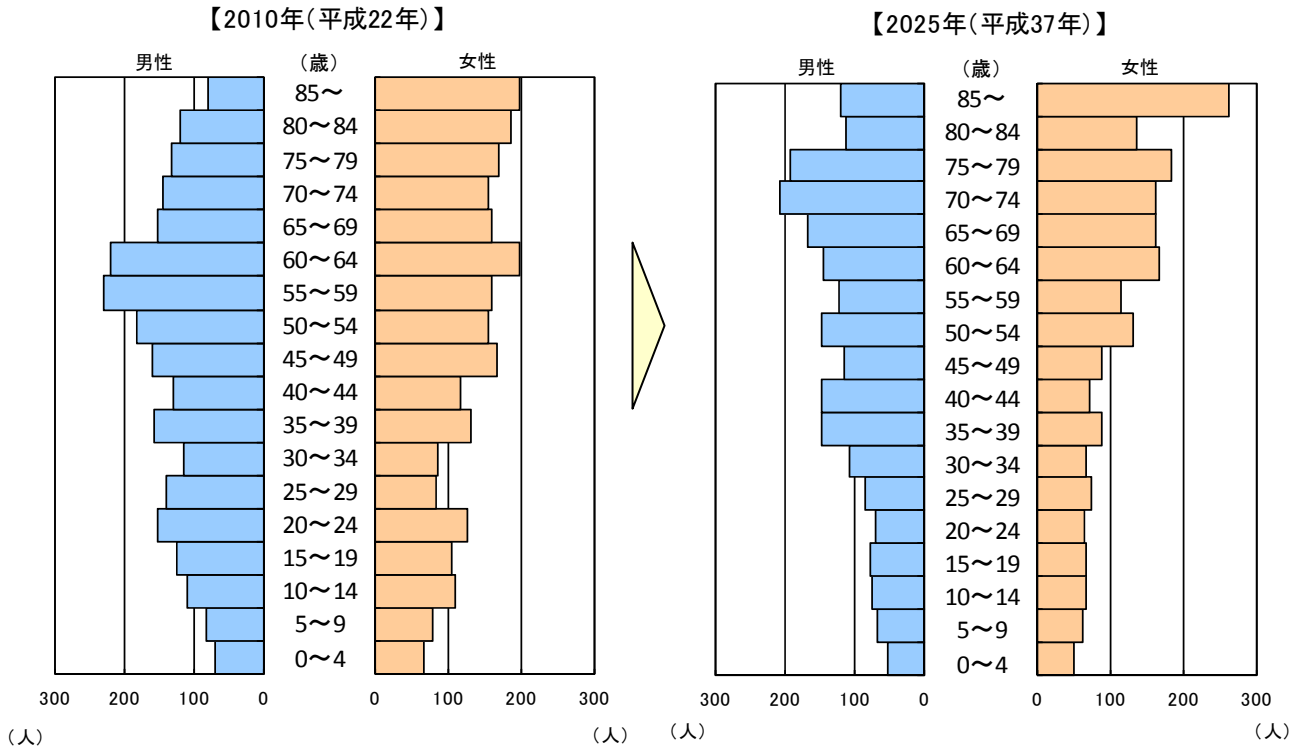
【栗源地区 年齢構成3区分の構成比の推移】



【栗源地区 生産年齢人口(49歳まで)の移動率】



【栗源地区 人口ピラミッド】



以上